

ごみ減量のキーワードは「3R」

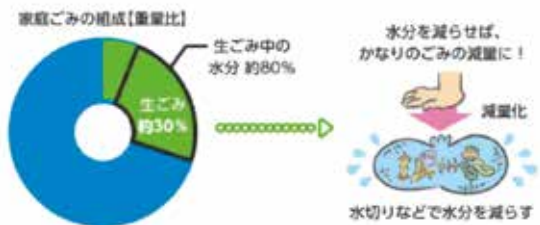
3Rとは、リデュース（Reduce 減らす）、リユース（Reuse 繰り返し使う）、リサイクル（Recycle 再資源化する）の3つのRの総称です。



Pickup

ごみ減量の決め手は、「水切り」

知っていましたか？生ごみの**8割**は水分です。生ごみは水分を多く含むため重量があり、家庭から出るごみの3割を占めます。生ごみの水分を減らすだけで、かなりのごみの減量になります。



水切りの、3つのコツ

- 1. 水に濡らさない**
野菜は、洗う前に皮むきすると、生ごみが水分を吸うことがありません。調理中に出た生ごみは、すぐに袋等に入れて濡らさないようにすることが、効果的です。
- 2. しっかり乾かす**
水分を含んだ生ごみは、新聞紙等に乗せて水分を吸い取るだけで、大幅に水分を減らせます。
- 3. 水切りネットを使う**
三角コーナーなどに設置するタイプの水切りネットを使えば、捨てるときの水切りが簡単です。捨てる前には、最後にギュッと**ひとしぼり**してください。

家庭でできる！

「さんあ〜る」ごみ分別アプリ

「今日は何のごみを出す日？」、「このごみはどう出せばいい？」など、ごみ出しに関するお悩みはありませんか？
そんな時に役立つのが、ごみ分別アプリの「さんあ〜る」です。スマートフォンやタブレットで、是非ご利用ください。



- 主な機能
- ・ごみ出しの日お知らせ機能
 - ・ごみ収集カレンダー
 - ・ごみ分別帳
 - ・持ち込み先一覧
 - ・よくある質問 など

特集 Special edition

ご存知ですか？

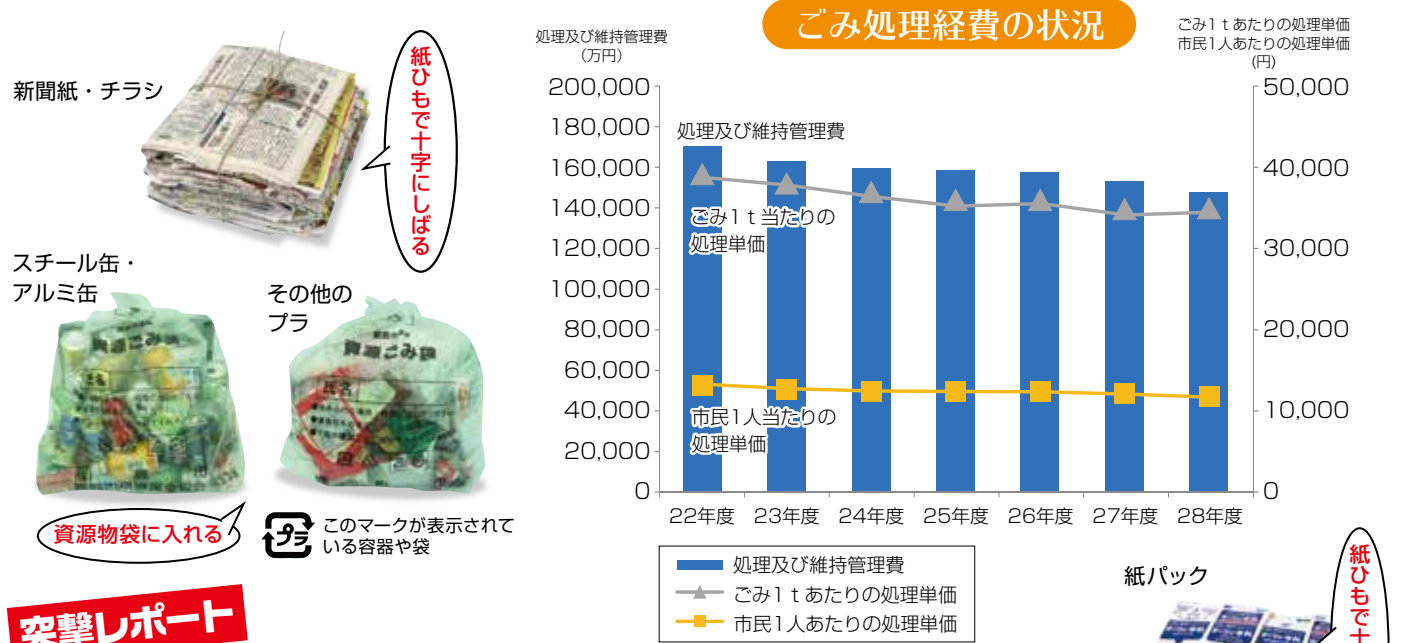
ごみ処理にかかる費用



霧島市で発生するごみは、年間約43,000トンで、処理するために年間約15億円の費用が掛かっています。ごみを処理するには、ごみ収集所から各処理施設までの収集運搬費、処理費や施設の維持管理費等で、市民一人あたり年間約12,000円の負担となります。

また、市民の皆様が分別した資源物は、回収したあとに再生資源として売却することで年間約3,000万円の収入となり、ごみ減量化やリサイクルに必要な事業へ充てられます。

ごみの分別や生ごみの水切りなど、日々の生活のなかでのごみの減量化がとても大切です。今後も、皆様のご協力をお願いします。



突撃レポート

「どうしたらいい？ごみの減量化」

しっかりと分別をすることで、収集するときに見ると、分別できる資源を可燃ごみとして出している例が、まだまだ多いように感じます。

私たちが、ごみを出すときに気をつけないといけないことは、何でしょうか？

大切な資源も、まぜれば「ごみ」になりますよね。

そのとおりです。可燃ごみで出せば焼却して終わりですが、資源物として出せば市の収入となります。

リサイクルの推進とごみ減量化に、一緒に取り組みましょう！(^-^)/

(株)国分単人衛生公社 業務2課 三重野 重信 課長

広報広聴常任委員 川窪 幸治